



# ゆずりは

## 見かけで判断しません

校長 吉田伸吾

学校では、5月に入ると学級の雰囲気もだんだんと落ち着いてきて、人と人の和もできつつある時期になります。そして、今月は6年生の球技大会や修学旅行、全校では家庭訪問、新体力テストと様々な行事も本格化する時期でもあります。

そのような中、今は春爛漫。校内には木々の新緑に混ざって、色とりどりの花々が咲いています。本校では、「西小サポーター」として地域の皆様にご協力いただき、除草作業や樹木剪定などをお願いして、こうした木々や花々のお世話をいただいています。その内、毎月の第2、4木曜日は、校内の樹木剪定をしてくださる日です。朝の8時30分には「西小サポーター」さんたちが昇降口前に集まり、ほぼ午前中いっぱい、剪定の必要な樹木を見つけ出し、きれいに整えてくださいます。(現在、「西小サポーター」を募集しております。ご協力いただける方は、遠慮なく本校教頭までおっしゃってください。)

ふと目を移すと、本校の玄関前にある池の横には「藤棚」があります。このフジは昨年の秋にはかなり伸びてしまい、そばを通る自動車にも枝がかかりそうな勢いだったので、サポーターさんたちが一気にさっぱりと剪定していただきました。その際、サポーターさんたちのお話では「(さっぱりと剪定したために、)来年の春にはフジは咲かないかも知れないね」というお話でしたが、今現在、見てみるととてもきれいに咲いているではないですか。例年ならばゴールデンウィークの頃に満開になるのがフジですので、今年は例年よりも早いということで、つまり例年より暖かい春ということのようです。



今年もきれいに咲きました

そして、フジの花によく集まるのが「クマバチ」や「マルハナバチ」といったハチです。丸々としていて、いかにも刺されると痛そうなハチですが、いずれも性格は穏やかで、このハチを手のひらで握りでもしない限り、人を刺すことはないので必要以上に怖がる必要はないようです。



これがマルハナバチ

このマルハナバチ(英語では「bumblebee」)は、以下に示すある文章で有名です。あまり英訳は得意ではないのですが、意識をすれば次のような意味です。

**「航空力学の法則によれば、マルハナバチは(その大きな体と小さな羽により)飛ぶことができません。でもマルハナバチは、航空力学の法則なんて知らないために、飛ぶことができます。」**

According to the laws of aerodynamics, the bumblebee can't fly either, but the bumblebee doesn't know anything about the laws of aerodynamics, so it goes ahead and flies anyway.

この文章は欧米ではかなり有名のようで、言葉の並びは違ってもマルハナバチに関する同じような文章が多々あるようです。

この文章を初めて知ったときに、「面白いなあ」と思っただけでなく、実に「教育的だなあ」と思ってしまったのは私だけでしょうか。つまり、私たち教師が子供たちを見るときに、「この子にこれは無理でしょう」と決めつけてしまうようなことはないでしょうか。これはあってはならないことですね。この季節にフジの花を見るたびに、そしてこの文章を思い出すたびに、自分への戒めにしている私です。

(文中引用はインターネットから <https://boardofwisdom.com/togo/Quotes/ShowQuote?msgid=18097#WtUt00IILmQ>)

\*\*\*\*\*

本校の今年度の学校研究課題も「学校4・3・2制に関する研究」です

本校では、昨年度に引き続き、北本中学校区の3校(本校、南小、北本中)で「小中一貫教育に係る『学校4・3・2制』に関する研究」を進めていきます。義務教育9年間の系統性、継続性を重視し、小中の教員間で授業参観交流や合同研修会を行ったり、児童生徒の様々な行事交流を行ったりして、児童生徒の学習、生活両面から見直しを図り、心身ともに健やかな成長を図っていくものです。研究発表は来年度を予定しています。